

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	コマツ湘南工場 開発棟	階数	地上5F
建設地	神奈川県平塚市四之宮3-25-1	構造	S造
用途地域	工業専用地域・法22条地域	平均居住人員	650 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,100 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2023年2月6日
敷地面積	5,041 m ²	作成者	清水建設株式会社一級建築士事務所
建築面積	2,420 m ²	確認日	2023年2月6日
延床面積	10,484 m ²	確認者	清水建設株式会社一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 52% (71)

③上記+②以外の 49% (22)

④上記+ 49% (22)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 4.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.8

3 設計上の配慮事項		
総合 ZEB Readyの取得を目指し、中温冷水チラーや全熱交換機を採用しBEI=0.5以下を達成する。屋上は太陽光パネルを設置してエネルギー創出も図る。新たな技術を開発する施設にふさわしい内外装計画と執務環境を計画し、地域の産業特性を生かした活力と賑わいのあるまちづくりに貢献する。		その他 宗教問わず働けるよう礼拝室の設置、育児後の女性復帰や体調不良の女性が休めるスペースとして休憩室(搾乳スペースやベッドのある部屋)を設置するなどの取り組みを行っている。
Q1 室内環境 適切な照度確保、音の反射が少ない天井材・床材の選定を行い、業務に集中できる環境とした。フロアフローで気流のない空調方式、CO2モニタリングによって感染症流行時も従業員の健康を守る計画とした。	Q2 サービス性能 従業員数に対して十分な執務室の広さを確保し、自席だけでなく様々な場所で働ける場所を計画した。耐震性能グレードは上級として、震度6強に対しても大きな補修をすることなく事業継続可能な計画としている。	Q3 室外環境(敷地内) テクノロードと呼ばれる平塚市の工場地域の発展を願う地区の入り口に建つ施設としてふさわしい外観計画を行った。シルバーの金属系外壁材とガラスを用いて工業地域の周囲に調和するよう配慮した。
LR1 エネルギー 高効率設備システムの利用によりBEI=0.5以下としZEB Readyを達成する建物とした。他、自然採光や自然通風、太陽光発電など自然エネルギーも利用し、更なる省エネルギーに寄与する。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を発生しない建材を用いるとともに、構造躯体と仕上材を明確に区分することによって別建物の改修に材料を利用可能とできるよう配慮した。	LR3 敷地外環境 敷地内に大規模な駐車場を確保して路上駐車などを発生させない計画とする。他、自転車置場の整備や工事用搬出入は大きな道路に面さない出入口に限定するなど、交通渋滞を発生させないよう配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される